

加工施設及び再処理施設のリスク評価に係る技術的知見の整備ロジックモデル

(インプット)

核燃料サイクル分野の規制高度化研究事業

令和元年度
予算
251百万円
(執行額
200百万円)
執行率80%

令和2年度
予算
91百万円

(アクティビティ)

実施方針に従った安全研究活動

研究の進捗マネジメント及び研究レベルの確保

- ・実施方針や年度計画に従った研究の実施
- ・研究内容の技術的妥当性評価(事後評価)
- ・適切な予算執行

○加工施設及び再処理施設の安全性の評価に関する技術的知見の整備

○再処理施設の経年変化に関する技術的知見の整備

(アウトプット)

規制活動向上のための試験、解析及び調査の作業件数、学会発表等

○加工施設に関する試験、解析及び調査の作業件数: 6件(H29-R1)

○再処理施設に関する試験、解析及び調査の作業件数: 10件(H29-R1)

○国際/国内学会発表、プロシーディング: 4件(H29-R1)

○外部研究機関による学会発表等(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構): 12件(H29-R1)

(アウトカム)

原子力安全規制を支える強固な技術基盤の構築と維持、厳密な審査及び規制基準の継続的改善

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律

- ・原子炉等規制法第二十二條の七の二
(加工施設の安全性の向上のための評価)
- ・原子炉等規制法第五十條の四の二
(再処理施設の安全性の向上のための評価)

○安全研究の成果を規制基準等の策定、見直しに用いる。

- ・加工施設及び再処理施設のリスク評価手法の素案を整備予定(R2)

○安全研究を通じて蓄積した知見を個々の審査・検査等に活用する。

- ・再処理施設の新規制基準適合性審査における事業者によるデータ活用(2件: H30及びR1)

(政策)原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること
(施策)原子力の安全確保に向けた技術・人材の基盤の構築